

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272300864		
法人名	社会福祉法人千栄会		
事業所名	グループホームさんふじ		
所在地 (電話番号)	〒038-3837 青森県南津軽郡藤崎町柏木堰字亀田67-1 (電話) 0172-75-3511		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成20年9月10日	評価確定日	平成20年10月21日

【情報提供票より】(平成20年7月23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年12月10日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤	12人, 非常勤 0人, 常勤換算 11人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	1階建ての 階 ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	8,400~冬期14,400 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 780 円		

(4) 利用者の概要(7月23日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	1 名	要介護2	7 名		
要介護3	6 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.2 歳	最低	66 歳	最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	せきばクリニック(内科)、西豊田歯科
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体施設の特別養護老人ホームと廊下でつながっていて、自由に行き来できるようになっていて、特養・デイサービス・グループホーム職員が一丸となって利用者の把握をして対応されています。建物の周りはバラが咲き、また花壇には季節の花が咲き誇っています。入居者のための畑には野菜が植えられていました。職員も外部研修はもちろん内部研修を通して向上心を常に持って、地域の町の委員会にも所属しながら連携を持って、地域の期待と信頼が伺えます。入居者一人ひとりが選んだ暖簾が居室入り口に掛けられ、個人が生活したい意向を取り入れて、字を書いたり、塗り絵をしたり、リハビリを行っている生活風景に会い生活意欲を感じました。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	権利擁護に関する制度について活用している入居者がいないこともあり、全職員の知識としてはあまり高くはないが、勉強会の予定を立てて前向きに検討しています。また鍵を掛けない工夫について全職員で意見を出し合い観察をしながら日々検討されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者を中心に職員間で話し合わせ、評価の意義についてなど理解されています。また、日々を振り返り、グループホームだけの問題でなく同法人のこととして捉え、サービスの質の向上に努力されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	町の職員・ご家族・地域の方・民生委員などの参加を頂きホーム内の活動状況の報告をしながら、前回の外部評価の結果についても報告し意見や情報を取り入れて運営やサービスの向上にむけて取り組まれています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	運営推進会議への参加や、面会・電話を通して、ご本人の状況を説明し、ご家族からも可能な限り情報提供していただいたり、ご意見を頂戴して運営やケアプランに反映させるように取り組まれています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	住宅地から少し離れていますので、隣接するデイサービス利用者との交流はもちろん、地域の商店への買い物や外食などを通し交流を持つようにしています。町内の行事への参加も積極的に行っています。個人情報に配慮して広報誌の配布も行っています。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体施設の理念を主にグループホームの理念をつくられている。入居者が安心してくつろいで生活できることに心がけた理念である。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々理念について会議などの場で管理者が中心となり全職員で話し合いをされている。職員みんなが理念を把握されており日々の仕事に取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	民家から少し離れた場所にあるため交流の場は難しいがこちらから町内会の行事等に出向いたり、地域活動に参加したり、地元の方達との交流する努力がなされている。また、広報を配布されグループホーム入居者の方の生活状況が分かるよう取り組まれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の意義について理解されており、管理者は職員と話し合い自己評価を作成されている。また評価後は職員みんなで見直し、話し合いをされ結果をもとに改善も図られている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>年に3回行われている。町の職員、家族、地域の方、民生委員、グループホーム職員で行われている。さまざまな意見や情報を取り入れ今後のサービスの向上に取り入れている。またいつでも確認出来る様に記録も残してファイルされている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>母体施設の職員が市町村の各種委員会に入っており、市町村との連帯などの交流があり、サービスの課題解決や質の向上に取り組める体制である。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在権利擁護を必要とする方はいない。知識向上のため、今後は勉強会を開催予定である。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設全体で虐待防止に取り組んでおり、職員が町の虐待防止協議会に入って情報を共有され、入居者が安全に暮らせるように取り組まれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居者、家族の方には入居する前に施設見学や、説明が十分にされており、家族にも納得がいくまで説明がされている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に詳しく日々の状況が説明されており、また来られない家族には電話や手紙での報告もされている。また年に数回に分け金銭の報告や広報、写真などもお知らせされている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や運営推進会議の場で家族からの意見や要望を聞き入れ、運営やケアプランに取り入られている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は少なく、異動が決まった職員はあらかじめグループホームに足を運び入居者と接する機会を持ち入居者のダメージを防ぐ事に配慮されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修にもみんなが参加できる体制になっており、参加後は会議の場で報告がなされており、みんなで勉強されより良いサービスにつなげている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者同士の集まりはないが、研修等の場での意見交換や情報交換がされている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員は入居者の方が安心して生活できるよう、日々の生活の関わり方を大切にされており、また本人、家族とも相談されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は入居者の方と畑仕事や食事準備等を通して教わることによりお互いが支えあう関係を築かれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の日々の暮らしの中から本人の意見や要望を聞き入れ、月の会議の中で検討し、希望を取り入れるよう、とりくまれている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>会議等で話し合い、計画を作成されている。また今年度より家族参加のケアプラン会議を実施し、家族の意見、思いも反映されたプランを作成されている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>その都度の入居者の状態変化時に随時会議を開き、プランの見直しがされている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入所前にデイを利用されていた方はデイの方に行かれ、食事や入浴も楽しまれている。またデイ利用者や施設入所者も顔なじみであり定期的に余暇を一緒に行われている。今後は認知症介護実践リーダー研修を受けて短期利用共同生活介護も受け入れたいと思っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所する前のかかりつけ医を入所後も利用できる体制である。本人、家族の希望にも合わせ受診がされていた。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対し、そのような場合は特養に移り終末を迎えてもらう方針であり、ご家族にも説明がされている。またかかりつけ医と共に話し合いもされ全員で情報を共有されている。グループホーム入居と同時に、特養入所の申し込みもしていただいている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーの保護についてのマニュアルがあり、職員で話し合いもされ入居者の人格を守るようにされている。個人に関する記録物もきちんと棚に整理されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者本人の意向に沿って、その希望や要望が叶うように特養へ出向いてリハビリをしたり、屋外への徘徊者に対しては、母体施設職員とも一緒に本人の希望に合わせた対応をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者の希望するメニューを月に数回提供したり、外食にも出かけられている。また食事の準備や後片付けも入居者が出来る範囲で行われている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>いつでも入浴出来る体制であり、要望があればデイサービスや特養と一緒に入浴出来る体制もある。本人の希望に合わせた入浴介助がされている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>入居者の特技や経験を生かせるよう職員は畑づくり、料理などを生活の中に取り入れ、入居者が楽しみ気晴らしのできる支援がされている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>入居者の希望に合わせて買い物や外食、園外散歩などがされており、閉じこもり防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設全体で委員会を設け、身体拘束についてのマニュアルも作られ職員みんなで勉強もされている。身体拘束をしない取り組みがなされている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	常に外出願望の強い方がいて職員が手薄になる事もある為玄関には鍵がされているが日中は施設への入り口は自由に出入りされるようになっている。またグループホーム以外の職員の方も見守れるよう協力がなされている。		鍵を掛けないようにどうしたら良いか日々職員が話し合い、またその方の観察もされている。日々検討もされているので今後に期待したい。
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に数回避難訓練がされており、地域の協力も得られるよう取り組んでいる。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	施設の管理栄養士が献立を作成されており栄養バランス、水分量なども含め入居者の栄養状況も把握されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症のマニュアルが施設の看護師を中心に作成されており、職員、入居者もインフルエンザ予防接種やMRSA検査も年1回行われている。手洗いも徹底されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>観葉植物や切花などが飾られており明るい雰囲気である。またホーム内は嫌な臭いも無く換気もされており、音や光も適度あり入居者が居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者が使い慣れたタンスや置物を持ち込み、本人が生活しやすい空間をつくり、居心地のよい居室となっている。夜間ポータブルトイレが必要な方へは、家具調になったポータブルが設置され、お部屋に違和感が無いように配慮されていた。</p>		

 は、重点項目。